

橋場あや

地上5cm

Aya Hashi 1993

の歩行

展



《会期》2022年 **10月1日 [土]** — **12月4日 [日]**

《開館時間》8:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

《休館日》月曜日 (月曜が祝日の場合はその翌日)

《入館料》 一般 600 (550) 円
高校・学生 400 (350) 円
小・中学生 250 (200) 円
* () 内は20名以上の団体料金

《後援》 岩手日報社、岩手日日新聞社、盛岡タイムス社、河北新報社、朝日新聞盛岡総局
読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、IBC岩手放送、テレビ岩手
めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、ラヂオ・もりおか
奥州エフエム、花巻ケーブルテレビ、えふえむ花巻

《主催/会場》 **萬鉄五郎記念美術館** 〒028-0114 岩手県花巻市東和町土沢5区135番地 TEL.0198-42-4402 FAX.0198-42-4405



橋場あや 地上5cmの歩行展

1932（昭和7）年、岩手県雫石町に生まれた橋場あやは、岩手大学で美術を学び、卒業後は県内の中学校や高等学校で美術教師として勤務しながら、旺盛な制作活動を続けてきました。そこには子どもや家族をテーマに色彩豊かな独自世界が展開されています。さらに、彼女の周りにはときおり現れる妖精たちは、グリーンチャイルドシリーズへと昇華されていきました。

一時期、ボールペンを一日一本使い切るといった苦行にも似たドローイングに没頭し、あるときは木彫りに打ち込むといった多様な表現世界を繰り広げてきました。さらに近年は、ドローイングやペインティングに糸や布を縫い込み刺繍を施すといった感覚的な複合表現を試みています。

また彼女は長年障がい者の美術教育に携わり、県内の草分けとして知られています。心身に困難を抱えつつも鋭敏な感性を持つ彼らの芸術的才能を見出し、その活動の場を広げてきました。

本展覧会では、今年90歳となり益々意気盛んな橋場あやの最新作を中心に、表現者としてこれまでの歩みに加え、障がい者や創作仲間とのコラボレーション作品を紹介します。



③



⑥



①



⑩



⑨



⑧



⑦



④



②

- ① 《とりの学校》油彩・板 92.0×75.0cm 1967（昭和42）年
- ② 《聖家族》グワッシュ・セメント・板 78.0×93.0cm 1970（昭和45）年
- ③ 《黒い舟と白い子ども》油彩・画布 162.0×130.0cm 1976（昭和51）年
- ④ 《グリーンチャイルド玩具のプレゼント》油彩・画布 162.0×162.0cm 1993（平成5）年
- ⑤ 《ま昼のこどもたち》油彩・画布 160.0×480.0cm [3点1組] 1999（平成11）年
- ⑥ 《幼らの紫》グワッシュ・オイルパステル・画布 130.0×80.0cm 2000（平成12）年
- ⑦ 《あしたIV》油彩・コラージュ・画布 162.0×162.0cm 2017（平成29）年
- ⑧ 《作品28》アクリル・ペン・マーカー・布・紙 28.0×31.5cm 2022（令和4）年
- ⑨ 《作品29》ペン・糸・紙 30.0×21.0cm 2022（令和4）年
- ⑩ 《作品33》印刷・紙 21.5×14.5cm 2022（令和4）年

萬鉄五郎記念美術館

〒028-0114 岩手県花巻市東和町土沢5区135番地
TEL.0198-42-4402 FAX.0198-42-4405

⑤